

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成26年11月23日（日）午後2時				
開催会場	広見東公民館				
出席議員	出口 忠雄	佐伯 哲也	酒井 正司	中村 悟	可児 慶志
	板津 博之	山田 喜弘	天羽 良明	小川 富貴	
	伊藤 英生	澤野 伸	野呂 和久	富田 牧子	
班長	野呂和久				
司会者	伊藤英生				
報告者	小川富貴・出口忠雄				
記録者	質疑：天羽良明／意見交換：板津博之・野呂和久・佐伯哲也・中村悟				
参加者数	34人				
実施内容	<p>第1部：可児市議会の議会・議員活動についての報告および質疑</p> <p>第2部：平成25年度決算審査についての報告および質疑</p> <p>第3部：地域の共助と健康づくりについての意見交換</p>				
主な意見 提言等	<p><b>第1部・第2部：質疑応答</b></p> <p>問：メタボ検診受診者にスポーツクラブの利用助成券を配布するのはなかなか良いと思うが、議会の提案か。</p> <p>答：がん検診受診率の低下についてその理由を議会として指摘した。低下の理由説明と共に検診率向上のための対策の1つとしてスポーツクラブ券の配布の説明があった。執行部の提案によるものだ。</p> <p>問：国は1,000兆円の借金である。景気が変わってくると大変。起債の話があったが可児市は将来大丈夫か。いわゆる借金でどうにもならないような事にはならないか。可児市の財政は大丈夫か。議会として市の財政状況への認識は。</p> <p>答：結論として可児市は大丈夫である。類似団体と比較しても健全と認識している。議会として長期的な安心を担保するための提案もし、基金や市債の状況を詳細に審査したが健全である。可児市は、類似団体と比べて財政規模が小さい。理由は広域地域で組合をつくり共同負担（ゴミ処理や消防など）を行っている。まもなくファシリティ白書を作成する。道路・橋などの維持管理が必要となることもあり、財政が維持できると楽観はできないが、貯金100億、借金430億円という財政運営は、他の周辺自治体よりは良好で健全な状況である。</p> <p>問：予算に余裕があると言うが、やる事をやってなくて余裕があるのは使わないで溜め込んでいる印象だ。市長も、住み心地一番可児市を目指すと言っているが、ア</p>				

ンケート評価では前が87位、現在は289位と住み良さランキングが落ちている。その一方で議会改革ランキングは良くなっている。それぞれの評価の妥当性はわからないが矛盾を感じる。

答：(個人的意見だか) 議会として研修を受けている中で、ある講師からお金を溜め込んでいる、もっと投資的経費に回しても良いのではと指摘された。全国住み良さランキングは、残念ながら可児市は高くない。財政運営だけは確かに上位にあるが、経済力、成長力といったものは、非常に低い。今後は、研修会で指摘されたような投資的経費を増やして経済力、成長力を増強していかなければいけないという認識は、議員として 概ね持っていると思うので、その点を議会として努力していきたい。

問：議会改革度ランキングが前回109位から19位にあがった要因とさらに順位をあげるため今後なにを改善していくのか。

答：順位があがった要因として、議会基本条例を制定したこと。そして議会の公開度の部分だと考える。今後は、公聴機能を高めることだと思う。参考人招致制度を活用し開かれた議会にする。また、議会報告会を頻繁に開催し市政に市民の意見をいかに反映させるかという事と議会の見える化を進めたい。常任委員会も各種団体と懇談会を行っている。聞くことの重要性、情報発信することの重要性を認識し高めていく。ただ、順位を上げれば良いとは思っていない。市民の皆さんと議会が親しく意見交換ができ、より良い市政運営に繋げることが重要であると考えている。

### **第3部：意見交換**

#### **<健康づくりについて>**

健康づくりについて意見交換を行い、下記のような意見がありました。

- ・先日視察で訪れた三重県いなべ市では介護予防事業として「元気づくりシステム」という施策を行っており、市が主導して地域に健康リーダーを養成し市内62地区95グループで健康づくりのための運動をしている。こういった取り組みを可児市でも採用するのいいと感じた。
- ・私は現在通院している病院の医師から痩せた方がいいと言われ、現在は毎日5~10分くらい自分で考えた体操をするのが日課となっている。
- ・健康づくりではないかもしれないが、私は歯科技工士をしており、歯で「噛む」とは脳に刺激を与えるのでボケ防止にもつながる。誰でも簡単に出来ることで食事の時にゆっくり噛んでゆっくり食べれば歯茎も丈夫になり、歯周病予防にもなる。
- ・報告の中でメタボ検診受診者にスポーツクラブの利用助成券を配布しているとのことだが、市内にスポーツクラブがどれくらいあるのか。スポーツクラブがたくさんあれば健康増進につながると思う。
- ・民営のクラブは把握していないが、公共のスポーツジムは市内に2つある。比較的安価に利用できるので一度行ってみるといいと思う。
- ・スポーツクラブの助成券は回数券なのか。
- ・回数券かどうかはわからないが、助成券はあくまでも運動することへの「きっかけ

- づくり」だと思う。それによって健康づくりへの意識が高くなれば良いと思う。
- ・健康は体だけではなく、心や脳の健康も重要だ。認知症の発症の課題もある。右脳を使うと良いと聞いているが音楽や絵画など趣味をする人が 広がる様にしてい  
く事が大切ではないか。
  - ・ウォーキングを行っていたが、なかなか時間が取れなくなった。しかし  
冬のスキーに向けこれからウォーキングを再開して体力づくりをしたい。
  - ・体を動かす有酸素運動をしたいが、なかなか犬の散歩くらいでは有酸素運動にはな  
らないので、退職後は仲間とゴルフを行って元気になっている。プレー代や税金面  
など市内ゴルフ場利用に高齢者へもう少し補助があると助かる。(現在、70 歳から  
500 円のゴルフ税無税を 65 歳以上にしては)
  - ・鳩吹山など登山者は高齢者の方が 1 人で登っている時もあるようだが、確かに現在  
は元気であり登られているが何かあった時が心配である。安全面も何か考慮して欲  
しい。
  - ・リトルワールドの年間パスポートを買って園内を歩いている。
  - ・3分早足、3分ゆっくり歩くと効果が大きいと聞いた。歩き方の提案などをしてく  
れると楽しさや効果が大きくなるのでは。
  - ・河川が多いので河川沿いに散策できるようにするとよい。
  - ・高齢者が農作業をすることで健康管理をしている。ちょっと重い物の扱いを近所の  
者が手助けしている。
  - ・「歩こうかに」運動を知らなかった。市として大きなイベントをやったらどうか。  
宣伝をもっとやったほうがいい。

意見交換は健康づくりを課題に実施しましたが、高齢者対策、防災対策、可児駅前拠  
点施設、可児市のPR、名城大学跡地利用、コミュニティバス、害獣対策、道路整備、  
空き家対策などについても、参加いただいた方からご意見をいただきました。

平成 26年 12月 5日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 広見東会場 班長 野呂 和久 ㊞